

# 高倉通信

平川市  
東奥日報  
尾上販売店  
第109号

東奥日報  
朝日 毎日 経済  
読売 日本 新聞  
スポーツ 各種

## 尾上・南田町会 自主防災会

7月12日、尾上・南田町会自主防災会（会長小野隆さん）は、農村婦人の家駐車で第1回防災訓練を行いました。



LEDヘッドライトの説明

## すてきに輝いて 八幡崎 ねぷた同志会

（訓練）で、両町会の役員・協力者を合わせ45名程が参加し、交互に試技を行い、万が一に備えていました。

これは、昨年度より準備した防災備品を、誰もが使えるよう操作法を学び、お互いに練習することを目的とした講習会

7月23日、ねぷた製作のそばで行われていた囃子の練習には、日沼子ども会のみなさんの姿も。

平川ねぷたまつりに昨年より参加している八幡崎ねぷた同志会（会長一戸大輔さん）は、祭りを精一杯盛り上げようと、日沼子ども会の協力を得て、8月2・3日の合同運行に出陣しました。昨年は初参加で、小型の部、金賞とは僅差の銀賞でした。

毎年お盆には町内を運



完成間近のねぷた



笛の練習

行したり、今年は花と植木まつりにも参加するなど、精力的に活動を広げながら、信頼の厚い一戸会長のもと、更に結束する同志会30名のみなさん

は、子ども達のために、伝統行事を継承する役割を担います。

## インタビュー 佐藤眞一さん

（南田）

先日行われた県ゲートボール選手権で、2連覇を果たした平川チーム。10月には、広島市で開催される全日本選手権に出場しますが、主将を務められた佐藤眞一さんにお話を伺いました。

佐藤さんがゲートボールを始めたのは、18年前の50歳の時。興味をもち、近くの福祉センター隣の練習場に通い始めました。その頃から、県民体育大会などいつも優勝を争う強豪チームですが、高齢者の引退とともに平川市合併時に80名程いた会員も、現在は20名まで減り、練習場も、整備された大光寺（平賀地区）で行われています。

それでも優勝出来たのは、チームワークのおかげ

げと語る佐藤さんですが、現在メンバーを募集中とのこと。少しでも興味のある方は、佐藤さん（57-2407）までお問い合わせ下さい。



佐藤眞一さん

## まち歩き

### 「青森県の名字」

青森県の名字で2番目に多いのは「佐藤」ですが、由来には諸説あり、藤原公清が「佐（次官）」の職位を得たことから、「佐」の「藤」原氏として名乗ったことにはじまります。

この公清流佐藤氏は、陸奥国を本拠地としており、奥州合戦では、奥州藤原氏について源頼朝と戦っています。その後、甲斐国、尾張国などに広がっていききました。

「名字の世界」から